

| | | | |
|---------|-------------------------|------|--------|
| 科目区分 | 研究科目 | | |
| 授業科目名 | 薬剤学 | | |
| 担当者名 | 菊地 正史 | 配当年次 | 2, 3年次 |
| 単位数 | 15単位(選択) | 実施場所 | 研究室 |
| 授業形態 | 講義, 実験実習 | | |
| 開講曜日・時間 | 科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します | | |

授業の概要・到達目標

授業の目的: 研究を進めるうえで必要となる, 実験や学会等での発表, 論文作成にかかる技術的知識や技能について学ぶことを目的とする。

授業の到達目標: 作成した論文を学術論文誌に公表後, 学位審査を経て, 学位取得を目標とする。

授業の概要: 薬物療法に関するクリニカルクエスチョンについて、様々な分析機器や医療データベースを用い、リバーストランスレーショナル研究を実施する。具体的な研究テーマは、以下の通りである。

1. 生体試料中の薬物濃度定量法に関する研究
2. 薬物動態・薬力学・薬理遺伝学に関する研究
3. リアルワールドデータを用いた薬剤疫学研究
4. 地域医療連携に関する研究
5. Artificial Intelligenceを用いた医療薬学研究

問い合わせ先(氏名, メールアドレス等)

菊地 正史, masafumi.kikuchi@hos.akita-u.ac.jp

その他特記事項

履修に関する情報: 社会人大学院生など, 勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。

教科書・参考文献: 必要に応じて資料を配付する。または, 文献を指定する。

自学自習時間における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。